



平成 24 年 2 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社野田スクリーン
代表者名 代表取締役社長 堀 尾 貞 夫
コード 6790 東証・名証 第二部
問合せ先 経営管理本部長 小 川 清 志
(TEL 0568-79-0222)

平成 24 年 4 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 12 月 2 日に公表いたしました平成 24 年 4 月期通期（平成 23 年 5 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日）の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 4 月期通期業績予想の修正

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 23 年 12 月 2 日発表)	2,910	81	136	92	874.07 円
今回修正予想 (B)	3,180	240	300	194	1,846.42 円
増減額(B)－(A)	270	159	164	102	—
増減率 (%)	9.3	196.3	120.6	110.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 4 月期)	3,308	248	281	173	1,626.42 円

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 23 年 12 月 2 日発表)	2,760	25	79	42	401.13 円
今回修正予想 (B)	3,017	181	244	143	1,361.02 円
増減額(B)－(A)	257	156	165	101	—
増減率 (%)	9.3	624.0	208.9	240.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 4 月期)	3,173	210	253	134	1,261.26 円

2. 修正の理由

平成 24 年 4 月期第 3 四半期（平成 23 年 11 月～平成 24 年 1 月）における日本国内の電子部品業界は、円高の長期化やアジアを中心とした海外企業の台頭などにより、依然として厳しい状況が継続しています。このような状況下において、当社は前期から引続き徹底したコストダウン・受注変動に耐え得る合理的な生産体制の追求について取り組みました。

これらの取り組みが奏功し、直近のプリント配線板加工事業において、通信関連や半導体パッケージ関連を中心としたフラットプラグ加工の受注が、想定を上回るペースで推移していることから、平成 24 年 4 月期通期の業績予想につきまして、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ上方修正いたします。

- ※ この資料に記載されている業績予想等の数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上